

ロンドン大会、リオ大会の文化プログラム例

ロンドン大会（2012年）	
1. 基本的要素	
全体構成	<ul style="list-style-type: none"> ・カルチュラル・オリンピアド期間（4年間）に、オープン・ウィークエンド、8つのナショナル・プロジェクト、レガシートラストUKによるプログラム、インスパイア・プログラム、ロンドン・フェスティバルが開催された ・ロンドン・フェスティバルは、カルチュラル・オリンピアドの最後を締めくくる最大のイベントとして、大会開催中も含めた12週間にわたり行われた
テーマ・ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> ・英国の誰もがロンドン2012に参加するチャンスを提供し、あらゆる文化に共通する創造性を、とりわけ若者たちに、喚起させること
レガシー	<ul style="list-style-type: none"> ・国民の文化活動に対する意向への影響 ・障がい者およびその芸術表現に対する国民の考え方の変化 ・文化関係者をめぐるネットワークの構築 ・文化活動に関する研究開発の必要性の明確化
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・公式ホームページ ・公式SNS（Twitter、Facebook、Youtube、Google+）
2. プログラム（例）	
① Unlimited	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者による芸術表現の可能性を開拓し、より高い水準に向上させること ・ロンドン・フェスティバルで29作品を披露 ・パラリンピック期間に「アンリミテッド・フェスティバル」を開催
運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ・国、地方自治体のアーツカウンシル5組織
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者アーティストによる作品制作 ・制作のうえで必要となる専門技能の育成 ・アーティストの国際進出 ・アーティストの国際コラボレーションの促進 ・ロンドン大会以降も、東京大会やその先に向けて活動を継続
② The Big Concert	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・国際的に活躍する指揮者を招聘し、子どもたちと共演する演奏会を開催 ・演奏会に向けて、プレ事業（拠点の開設、語学教室、トークイベント等）を実施
運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ・Big Noise、システム・スコットランド
資金調達	<ul style="list-style-type: none"> ・チャリティー団体のシステム・スコットランドとは切り離し、別会社としてBig Noiseを設立して活動 ・クリエイティブ・スコットランド、オリンピック組織委員会、スターリング市、BBC等による資金援助
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの成長の機会の創出 ・市民主体の活動による地域活性化 ・地区周辺に拠点を開設し、現在は計3ヶ所で活動を継続

3. その他	
人材育成	<ul style="list-style-type: none">・ 専門技能の育成 (Unlimited)・ 生後 6 ヶ月から16歳まで約500人の子どもたちを対象に、週 4 日11時間の楽器教室を無料で開催 (The Big Concert)
連携・ネットワーク	<ul style="list-style-type: none">・ 国際的なネットワーク「アンリミテッド・インターナショナル」のもと、全国で活動 (Unlimited)
市民参画	<ul style="list-style-type: none">・ 市民主体の活動による地域活性化 (The Big Concert)・ 参加型地域プログラム「コミュニティ・ゲームズ」のツール・キット (手引書) を作成し、ボランティアにより各地域でプログラムを実施
交流拠点	<ul style="list-style-type: none">・ 地区周辺に拠点を開設 (The Big Concert)

リオデジャネイロ大会（2016年）	
1. 基本的要素	
全体構成	<ul style="list-style-type: none"> ・2,000人以上の国内外のアーティストを起用し、ブラジルの豊かさと多様性を示す561の文化プログラム「Celebra」を開催。 ・文化プログラムの多くは「フラッシュモブ」 ・拠点施設「カーザ・ブラジル」を大会期間中に開設し、展示やセミナーその他、スポーツや文化、観光などに焦点を当てた諸活動を実施
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラジル文化省のHP ・ブラジル博物館機構のHP
2. プログラム例	
① Uma So Voz (With One Voice)	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を通してホームレスを支援するイギリスのアート団体「ストリートワイズ・オペラ (Streetwise Opera)」による国際交流事業 ・ホームレスの方を対象としたワークショップや、ブラジルや世界各国におけるアートとホームレスの状況についてのプレゼンテーションを実施
運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ・日本：NPO法人こえとことばとこころの部屋、ダンスグループ「ソケリッサ！」 ・英国、オーストラリア、アメリカ、ポルトガル：アート関係者、政策関係者、研究者
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームレスを取り巻く環境やアートの持つ可能性について議論を高めた
② Passaporte Cultural Rio (リオカルチャーパスポート)	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラジル人および外国人滞在者に向けた、さまざまな文化特典を受けられるパスポートの発行
運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ・主催：リオデジャネイロ市役所文化局、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック大会組織委員会 ・スポンサー：Estácio ・後援：ブラジル連邦共和国、文化省、ibram（ブラジル博物館機構）、Funarte（国立芸術文化振興財団）
③ Boulevard Olimpico (ボウレヴァルド・オリンピコ)	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「ポルト・マラヴィリャ」と呼ばれる港湾部で、約3キロの地域にパビリオンや舞台、大型スクリーンなどを設置し、100以上のショーなどを実施
運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ・スポンサー：文化省、コカ・コーラ、サムスン、ブラデスコ・セグロス、日産、SKOL、ナイキ
3. その他	
交流拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・カーザ・ブラジルで6つのテーマ（芸術や文化の多様性、観光名所の紹介、スポーツで挙げた業績、五輪のレガシー、商談や投資のチャンス、環境と持続性）に沿ってブラジルを幅広く紹介